



9月9日は「救急の日」です。
救急業務に関する正しい理解と認識を深めましょう。

特集

それって本当に救急ですか？

考えよう！119番する前に

☎ 0857-23-2303
☎ 0857-54-1221

近くの救急車が来ない?!

救急車は、生命の危険が差し迫っている傷病者を医療機関に搬送するための車両です。東部消防局では、全体で13台の救急車を運用しており、救急現場に一番近い場所の救急車が出動します。しかし、救急現場の近くの救急車が先に緊急性の低い病気やケガなどで出動してしまうと、救急車を必要とする緊急性の高い傷病者のもとへ出動できず、救命処置の開始が遅くなります。救急車は、「救うために急ぐ緊急車両」なのです。

救急活動の現状

全国的に軽症の傷病者が救急車を呼ぶことで、重症傷病者の搬送の遅れが問題になっています。東部消防局管内の救急出動件数は年間1万件を超えており、平均すると一日で約30件出動しています。救急車で搬送された人のうち、



写真所載：鳥取市歴史博物館

特集

鳥取大地震から80年

～過去から学び、備える今～

問い合わせ先 本庁舎危機管理課 (31番窓口) ☎ 0857-30-8033 ☎ 0857-20-3042

1943年9月10日は、鳥取大地震が発生した日です。死者1210人、全壊家屋1万3295戸という甚大な被害を与えた大地震から、今年で80年を迎えます。災害は突然発生し、生活や生命を脅かします。本市では、過去の経験と教訓を学び、いつ起きてもおかしくない大規模災害への備えや防災について考える機会となるよう、シンポジウムや訓練などを開催します。

『鳥取の震災』出版記念シンポジウム・鳥取市防災フォーラム

時 9月10日(日) 13:30～16:00
所 鳥取市文化センター

▽第1部『鳥取の震災』出版記念シンポジウム(執筆者からの発表)
執筆者・西田 良平さん(鳥取大学名誉教授)、香川 敬生さん(鳥取大学工学部教授)、横山 展宏さん(鳥取市歴史博物館学芸員)、池本 美緒さん(鳥取県公文書館専門員)



『鳥取の震災』-あの日から80年 過去から学び 備える今-

▽第2部・鳥取市防災フォーラム 講演「緊急消防援助隊制度と概要について」、パネルディスカッション「災害に備えた地域社会」(員200人) 料無料 ※予約不要

鳥取市総合防災訓練

時 9月10日(日) 10:00～12:00

所 大正小学校、国府東小学校 被災者救出・炊き出し訓練(大正小)、物資供給・起震車訓練(国府東小)、防災情報の伝達・避難所開設・消火訓練、防災関連展示(大正小、国府東小) ※10:00に市内全域で防災行政無線、防災ラジオ、防災アプリ、緊急速報メールなどにより緊急地震速報チャイムと緊急放送を実施

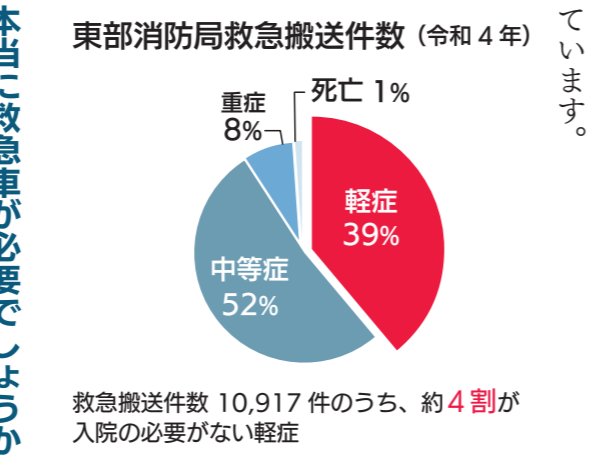


過去の総合防災訓練

◆鳥取地震80年犠牲者追悼のつどい
問 鳥取地震犠牲者の慰霊碑(記念碑)建立をめざす会
TEL 090-1687-2620 (渡辺)

時 9月10日(日) 17:00～17:45 所 旧本庁舎跡地、鳥取市民会館大会議室
容 記念碑の除幕、献花、黙とうなど

#7119を 知っていますか？



本当に救急車が必要でしょうか

- ・蚊に刺されてかゆい
- ・今日は病院の受診日。タクシー代がかかるので無料の救急車を呼んだ。
- ・指に小さなトゲが刺さった。
- ・海水浴に行って日焼けで肩がひりひりする。
- ・眠れなくて、誰かに話を聞いてもらいたいため救急隊員を呼んだ。

ここに上げた症例は、すべて東部消防局管内で本当にあった救急要請の内容です。



救急車の適正利用について、詳しくは東部消防局のウェブサイトをご覧ください。

救急車は、誰でも利用できる公共の財産です。そのため、救急車を呼ぶときには、その必要性をよく考えてから要請してください。救急車を呼ぶかどうか判断に迷う場合にご利用いただける「とっとりおとな救急ダイヤル」* (#7119) をご存じでしょうか。「気になる症状や病気について」「救急車を呼んだほうがいいか」「どこの病院に行けばいいか」など、看護師・医師などがアドバイスをしてくれます。本当に救急車を必要とする人のために「救急車の適正利用」についてご協力をお願いします。*15歳未満のお子さんの場合は、「とっとり子ども救急ダイヤル」(#8000)をご利用ください。